- 改めまして、只今紹介にあずかりました、アルトナーの関口でございます。
- 本日は、お忙しい中、決算説明会にご参加を賜りまして、誠にありがとうございます。

- さて、当社は2019年1月期決算におきまして、おかげさまで5期連続の増収・増益を達成いたしました。
- 2020年1月期におきましても、6期連続の増収・増益を見込んでおります。
- これらの現況を踏まえまして、只今より当社の概要についてご報告、ご説明を進めさせていただきたいと思います。
- よろしくお願い申し上げます。

目次

1. 会社概要	P3
2. 第57期（’19年1月期）決算概要	P19
3. 中期経営計画（’19年1月期～’21年1月期）の進捗	P32
4. 第58期（’20年1月期）業績予想、配当予想	P39
5. 参考資料	P43

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

目次

1. 会社概要 P3

2. 第57期（’19年1月期）決算概要 P19

3. 中期経営計画（’19年1月期～’21年1月期）の進捗 P32

4. 第58期（’20年1月期）業績予想、配当予想 P39

5. 参考資料 P43

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- それではまず、会社の概要について、簡単にご紹介をさせていただきたいと思います。

社是／経営理念／社名の由来

■社是

精神の追求　智識の追求　創造の追求

■経営理念

「 エンジニアサポートカンパニー 」

– 私達は技術者の夢をサポートします –

人をつくり　技術を育み　技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

■社名の由来

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

4

- 当社の社是、経営理念。
- これらに基づきまして、当社の経営戦略を作成させていただいております。

沿革（1953年創業時）

■1953年　兵庫県尼崎市にて有限会社関口興業社として創業
■阪神工業地帯の重工業メーカーに対して「工業用手袋」の販売・製造
■設計部門より設計図面を預かり「白焼き」「青焼き」で複写・製本
■理系社員を雇い設計図面のトレース業務を始める
■設計部門に頻繁に出入りする
■トレース業務だけでなく、設計開発業務の需要が高まる

https://www.artner.co.jp/

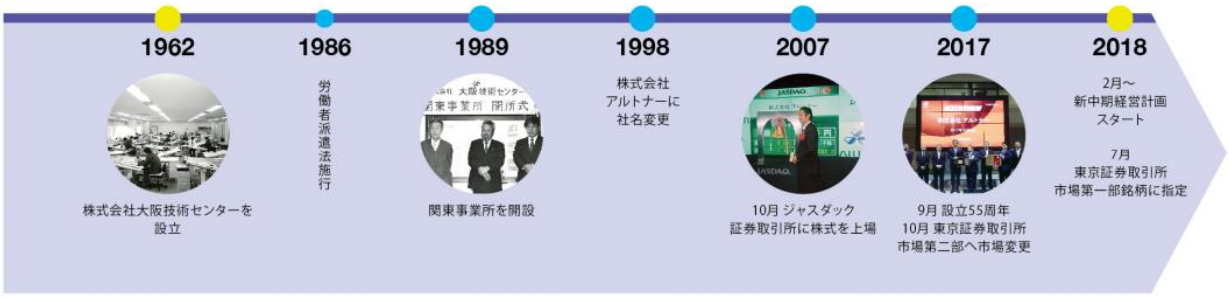
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

5

- まず、当社の沿革でございます。
- 沿革としましては、1953年に前身であります関口興業社におきまして、兵庫県の尼崎市の阪神工業地帯の重工業、メーカー様中心に工業技術サービスを提供するというビジネスを1953年にスタートを切らせていただきました。
- その後、メーカー様からの様々な要請を受けまして、

沿革（1962年～現在）

■1962年　設計開発業務を行うため株式会社大阪技術センターを設立
■1986年　労働者派遣法施行
■1998年　株式会社アルトナーに社名変更
■2007年　ジャスダック証券取引所に株式を上場
■2017年　会社設立55周年／東京証券取引所市場第二部へ市場変更
■2018年　東京証券取引所市場第一部銘柄に指定



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

6

- 1962年に技術者の派遣を専門的に行う事業会社として株式会社大阪技術センター、現アルトナーの前身の社名でございますが、1962年に派遣事業を展開する事業会社として大阪の北区に会社を設立しております。
- その後、2018年、昨年の7月に東証一部の指定銘柄となりまして、現在に至ってるという状況でございます。

拠点

■本社　　東京・大阪本社
■事業拠点　横浜・宇都宮・大阪・名古屋事業所
■研修拠点　ラーニングセンター

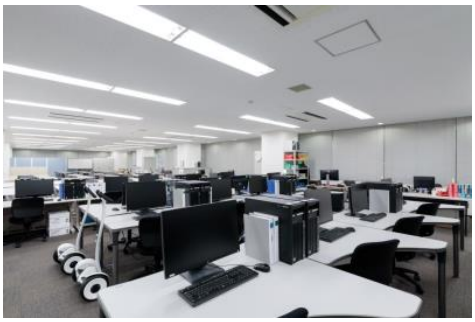
https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

7

- 当社、現在、大阪、名古屋、横浜、宇都宮と4つの事業拠点を中心に東北から九州のエリアまで営業をカバーしております。
- あと、大阪の吹田市の江坂駅前に、全社エンジニアが教育訓練を受けるラーニングセンターを設置し、4つの拠点のそれぞれの取引先の研究開発部等の部門に、エンジニアを派遣してるというのが当社の事業展開でございます。

2019年1月15日移転　ラーニングセンター



https://www.artner.co.jp/

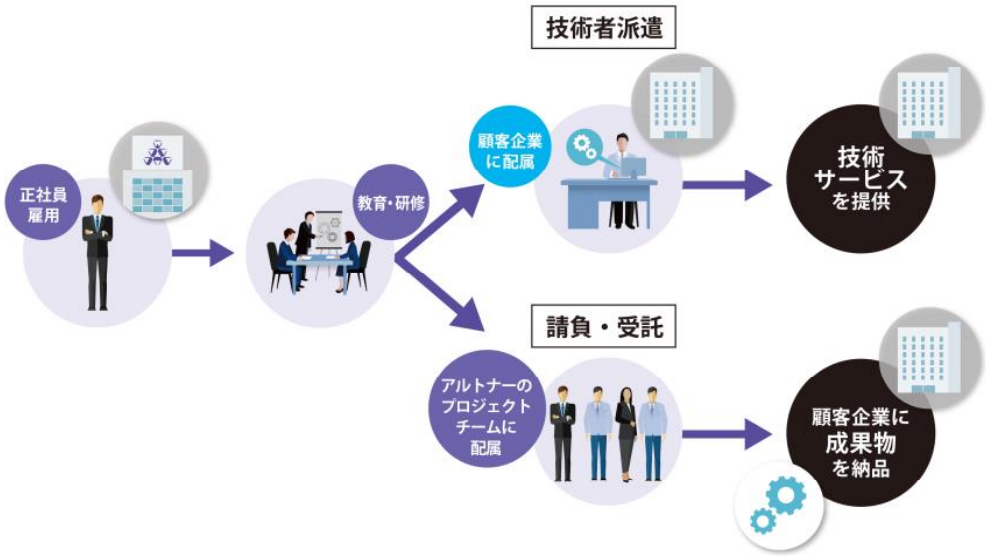
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

8

- こちらがリニューアルオープンのラーニングセンター、教育訓練施設でございます。

ビジネスモデル

■理系(工学部、理工学部、理学部、情報工学部)の大学生、大学院生を
正社員雇用し、教育・研修を実施後、顧客企業または当社チームに配属
■研修スタッフは、経験豊富な技術者出身
■顧客企業は、輸送用機器、電気機器、精密機器メーカー



https://www.artner.co.jp/

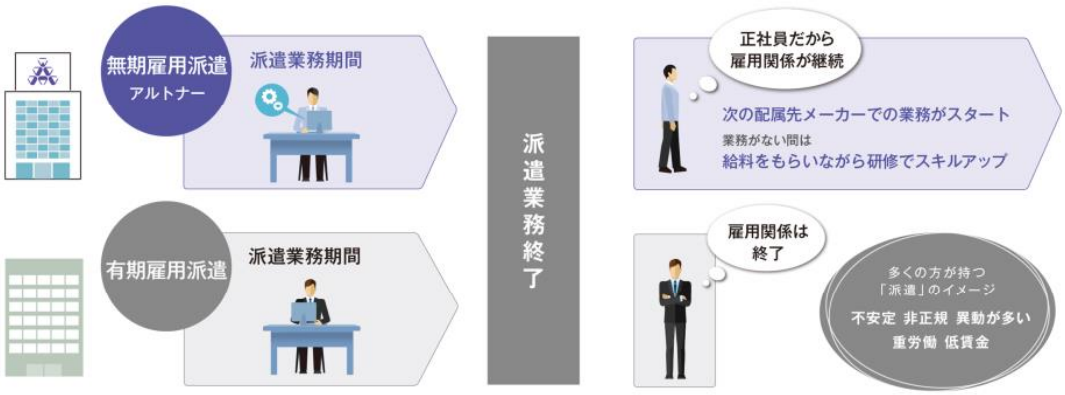
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

9

- 続きまして、当社の事業モデル、ビジネスモデルでございますが、主に採用主体は新卒採用、並びに、一般、いわゆるキャリア採用を中心に、毎年一定量のエンジニアの方々を採用させていただいております。
- その方々をアルトナーの正社員として雇用させていただき、当社独自の教育訓練を行い、それぞれ技術者派遣としてお客さまのプロジェクトに参画するメンバー、一部は当社社内の請負・受託部門で請負業務を推進するメンバーで、それぞれ業務を推進しております。

アルトナーの雇用形態

■アルトナーの雇用形態である「無期雇用派遣」のエンジニアは「正社員雇用」されているので、 1つの派遣業務が終了しても雇用関係は継続。



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

10

- あと、当社の派遣雇用の特徴ですが、皆さんご存じの通り、派遣には2つの方法がございます。
- 雇用形態が違うということです。
- 派遣元企業と無期雇用を行っていくという事業会社と、業務があるときだけ雇用契約を結ぶという、いわゆる有期雇用の派遣形態。
- この2つの派遣モデルがありますが、当社アルトナーでは全てのエンジニアの方を無期雇用、いわゆる正社員雇用を行い、その後、当社の教育を受け、当社の取引先のプロジェクトに参画をいただく。
- あるいは受託部門で業務を推進いただくという派遣のスタイルで事業展開を行っております。
- 特に無期雇用ですので雇用期限が限られていないということで、エンジニアの皆様は安定的な給与報酬を受けながら教育訓練を受け、そして様々なプロジェクトに参画し、その派遣契約を終了したら、また社内に戻り、次の派遣プロジェクトに向けての充電を図っていただくというスタイルで、当社の場合は派遣事業を展開しているという特徴でございます。

教育・研修フロー

■入社後は「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」
「カスタマイズ研修（応用研修）」というプロセスを経て、
メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、
顧客企業への細やかな対応力を養う。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

技術領域

【機械】 （対応分野） 機器装置/機構/ 樹脂板金/解析	【電気・電子】 （対応分野） 電気機器/電子回路/ 半導体	【ソフトウェア】 （対応分野） 制御ソフト/ 情報処理
2D・3D CADを使用し自動車や家電メーカーなどで設計・開発業務を行う。	メーカーの製品において、心臓部となる回路基板の設計や、電子系の信頼性評価業務を行う。	ハードの動作制御の開発、システム並びにアプリケーションソフトウェアの開発などを行う。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

12

- そのような技術者が当社、現在2019年1月末で約800名が正社員で雇用させていただいておりますが、それぞれ専門分野がございます。
- 大きく3つです。
- 機械、電気・電子、ソフトウエアの分類となります。

顧客企業（業種別、50音順、敬称略）

■安定した経営のため、幅広い業種の顧客企業と取引。

【輸送用機器】
SUBARU、トヨタ自動車、
日産自動車、本田技術研究所、他

【電気機器】
オムロン、キヤノン、
ダイキンレクザムエレクトロニクス
パナソニック、他

【精密機器】
島津製作所、テルモ、ニコン、他

【機械】
小松製作所、ジェイテクト、
瑞光、他

【情報・通信】
日立超LSIシステムズ、他

・株式一部・二部上場企業及び優良中堅企業　取引実績約400社

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

13

- そのようなエンジニアが当社の取引先企業、様々な産業分類ございますが、このような取引先企業の各種プロジェクトに派遣で就業する。
- もしくはこういったお客様からテーマをいただき、社内あるいは工内での請負業務を推進するということで活躍していただいております。

設計開発に関わる製品・システム①

自動車

機械	電気・電子	ソフトウェア
●車体設計開発 ●信頼性試験	●ECUの企画設計 ●ワイヤーハーネス電源回路	●自動車メーター、カーナビゲーションシステム、ドライブレコーダーの制御ソフト開発

エコカー

機械	電気・電子	ソフトウェア
●エコカー充電器の開発 ●リチウムイオン電池の開発 ●駆動用モーターの開発	●次世代燃料電池の研究開発 ●ハイブリッドシステム設計 ●車載電池の安全性評価	●ブレーキ制御システムの開発・評価

先進安全自動車（ASV）

電気・電子	ソフトウェア
●駐車支援システム（自動ブレーキ、アクセル制御等）の開発 ●レーンキープアシスト（ステアリング補助等）の開発	●安全運転支援システムの研究開発 ●カメラ画像による自動車周辺監視システムの先行開発

自動二輪車

機械	電気・電子	ソフトウェア
●フレームの設計開発 ●外装部品の設計開発 ●電動バイクの設計開発	●電気配線用ハーネスの設計	●ブレーキ開発のためのテストソフトウェア開発 ●デジタルメーターのソフトウェア開発

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

14

- そういった様々なプロジェクトございますが、特にこちらで紹介させていただいておりますのは特に最近非常に活況だというプロジェクトで、エンジニアのニーズも非常に旺盛であるというプロジェクトの代表的なものでございます。
- 自動車関連、エコカー、先進安全自動車関連、自動二輪の制御関係。

設計開発に関わる製品・システム②

Create the Future ARTNER

家電機器

機械	電気・電子	ソフトウェア
●白物家電の設計開発（筐体設計、構造設計） ●カーナビゲーションの開発	●スマートフォンの基板の試作・評価・解析 ●AV機器の回路設計	●エネルギーシステムの開発 ●iPhone向けアプリケーション開発

医療機器

機械	電気・電子	ソフトウェア
●PETシステム開発 ●輸血・輸液セットの改良、次期セットの設計	●X線画像処理装置の制御基板の設計開発 ●内臓脂肪測定装置の評価	●歩行アシスト機器の研究開発 ●血圧脈波測定器の研究開発

産業機器

機械	電気・電子	ソフトウェア
●作業ロボットの設計開発 ●衛生用品製造ラインの設計 ●工作機械の設計開発	●半導体露光装置の開発 ●生産設備の設計開発	●半導体露光装置のアプリケーション開発 ●自動改札機のソフトウェア開発検証

航空宇宙機器

機械	電気・電子	ソフトウェア
●航空機関連の試験治具設計開発 ●旅客機用AV機器の開発 ●航空機の設計開発	●人工衛星に関連する検査装置の開発	●次期人工衛星の研究開発 ●人工衛星の無線通信機のシミュレーター開発・評価

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

15

- あるいはIoTを中心とする家電、医療機器、AIを搭載した産業機器、GPS中心とする航空宇宙機器が、最近のトレンドのプロジェクトでございます。

メーカーの業務工程に対応する当社の各グループ

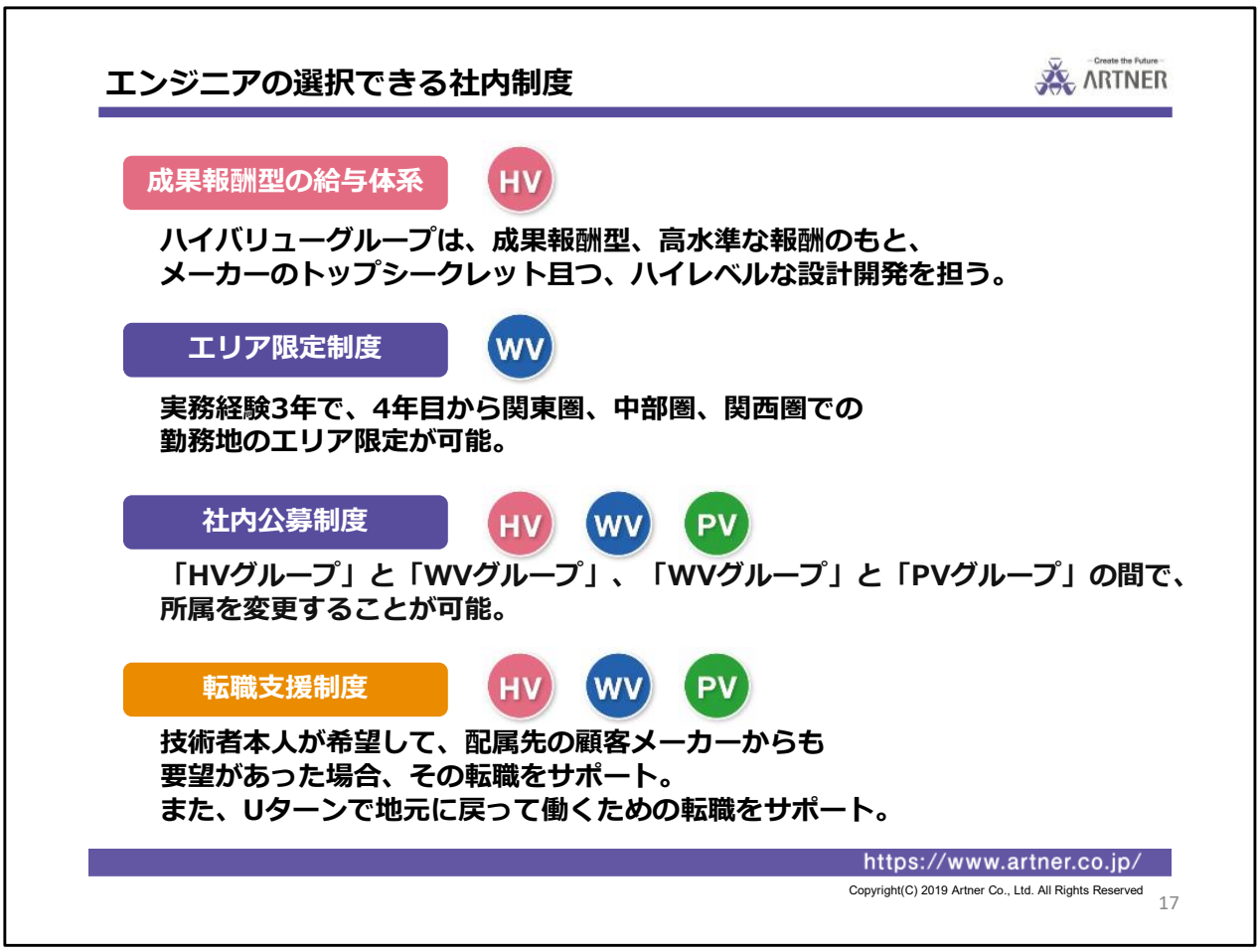
■上流工程は、景気の影響を受けにくいマーケット
■設計開発のプロジェクトに重点的に配属(特に自動車メーカー)
■上流工程への配属結果として、技術者単価が高くなる

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

16

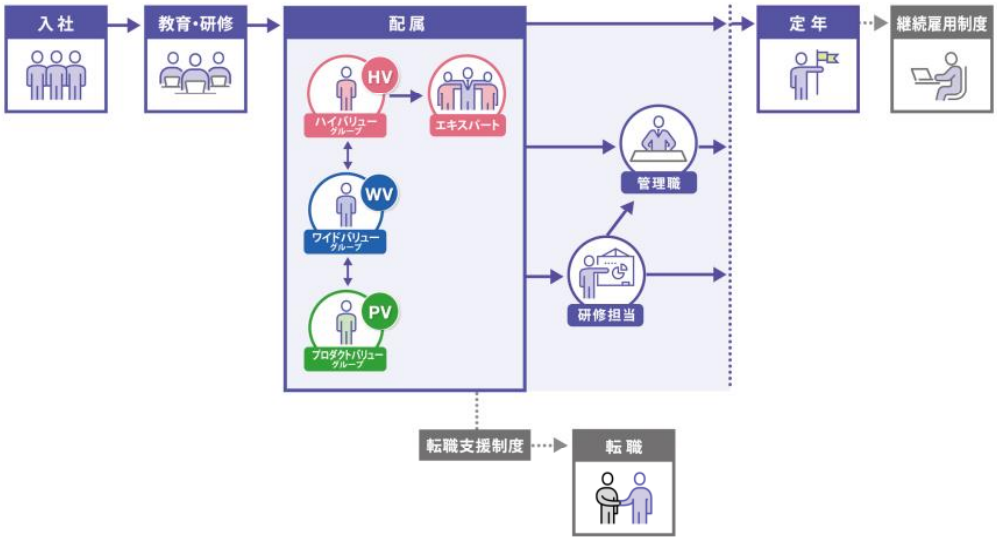
- 次に当社のプロジェクトへの派遣のサポート体制でございます。
- こちらの分類が、技術者派遣事業を行ってる会社は多数ありますが、当社のきめ細かいサポートというところでお客様にも好評いただいてる特徴的な分類展開でございます。
- お客様の開発領域は非常に幅広くございます。
- それぞれの主要部門からエンジニアの要請がまいります。
- 当社では幅広い工程を大きく3つに分類させていただいております。
- まず、上流工程といわれる研究開発領域、中流の製品開発領域、最終、販売の手前、下流工程である生産関連領域。
- それぞれ当社の組織体としては、ハイバリューグループ、ワイドバリューグループ、プロダクトバリューグループというところで、それぞれの領域のお客さまのニーズにきめ細かく対応していく体制を整えて事業展開をさせていただいております。



- また、近年、非常に理工系学生、一般採用を含めて採用環境が厳しいので、そういった採用環境の中で当社をメーカーサイド、あるいは同業他社サイドと比較して選んでいただけるか、いかに応募者にとって魅力あるメニューを、時代に合わせて用意させていただくのかが、非常に重要な採用戦略の要素だと捉えております。
- 先程、紹介しました3つのグループに、それぞれの特徴を持たせた制度設計をさせていただいています。
- まず1つ目に、研究開発領域のエンジニアを中心とするハイバリューグループにおきましては、成果報酬型の給与体系を導入し、本人の契約単価に応じて高報酬を得るような賃金制度設計を特徴として持っております。
- 次に、当社のエンジニアの中で一番ボリュームゾーンであります、ワイドバリューグループの特徴としましては、それぞれのエンジニアが働きたいエリアを選択できる、いわゆるエリア限定制度というものを導入させていただいております。
- エリアとしましても関東圏、中部圏、関西圏3つのエリアを指定できます。
- その指定したエリア以外のプロジェクトには勤務しないというエリア限定制度が、ワイドバリューには設けさせていただいてます。
- 後程、さらに詳細説明しますが、それぞれ新卒、中途採用同じですが、入社要件としてハイバリュー入社、ワイドバリュー入社、プロダクトバリュー入社で当社に入社してまいります。
- 入社後、社内公募制度を活用し、それぞれのグループ間の異動希望を出し、その要件を満たせばグループ異動が可能になるという社内公募制度も、人財の流動化と、グループ間の流動化ということで設計させていただいております。
- 最後に、これも当社の特徴でございますが、転職支援制度、エンジニアエージェント制度というものを制度設計させていただいております。
- これは全てのグループのエンジニアが対応可能となってます。
- 技術者本人が希望して、配属先の顧客メーカーからも要望があった場合、その転職をサポートする制度です。
- また、地方採用者が非常に多いため、地方へのUターンで地元に戻って働きたいというエンジニアの方の転職サポートも、このEA担当部門のほうがエンジニアのサポート、サービスメニューとして制度設計させていただいております。
- 最近、ここに魅力を感じて当社を選択いただいてるという集計データ、アンケートデータも多く寄せられるようになってまいりました。
- これらが採用実績に貢献してるという制度でございます。

エンジニアのキャリアパス

■「ハイレベルな環境でスキルを磨き高報酬を得たい」「地域を限定して働きたい」「地元にUターンしたい」「メーカーに転職したい」等のキャリアパスを用意。



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

18

- 先程紹介しました、それぞれのグループで入社してまいりますが、社内公募制度を使ってここでの流動性を図ることができます。
- あるいは、その方々が希望すれば転職というものを支援する制度があります。
- もちろんアルトナーで定年を迎えるエンジニアもたくさんいらっしゃいます。
- 60歳定年、その後65歳あるいは、70歳まで現役のエンジニアとして活躍する土壌を現在、当社では用意をしているということでございます。
- あと、途中でスタッフ部門配置転換されて研修担当者になったり、あるいは、その他部門のスタッフに転属される方も希望としてはいらっしゃいます。

- ここまでが簡単ではございますけども、当社の概要でございます。

目次

1. 会社概要	P3
2. 第57期（’19年1月期）決算概要	P19
3. 中期経営計画（’19年1月期～’21年1月期）の進捗	P32
4. 第58期（’20年1月期）業績予想、配当予想	P39
5. 参考資料	P43

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- それらを踏まえまして、次に第57期、2019年1月期の決算概要についてご報告をさせていただきます。

第57期（'19年1月期）決算概要 総括

・5期連続で増収増益。

【市場環境】

・自動車関連を中心とする輸送用機器分野において、運転支援技術を備えた先進安全自動車のプロジェクト等が活発。
⇒ ソフトウェア技術者の要請が高まる。
・情報通信分野、また、自動化技術の開発が活発な生産機械分野においても、技術者要請が高まる。

【技術者派遣事業の状況】

・稼働人員が前年同期を上回る。
（技術者数が前年同期を上回る。稼働率が高水準で推移。
2018年4月入社の新卒技術者が当初の予定より前倒しで配属。）
・技術者単価が前年同期を上回る。
（新卒技術者の質が向上し初配属単価が上昇。）

【請負・受託事業の状況】

・積極的な営業展開により、受注プロジェクト数が増加。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

20

- まず、第57期の決算概要の総括としまして、冒頭ご紹介しました通り、5期連続で増収・増益で着地することができました。
- それらを支えました市場環境としましては、昨年来と継続し、引き続き、自動車関連を中心とするエンジニアの要請が活発でございました。
- 特に、近年は組み込みソフトウェアのエンジニアの要請が高まっております。
- また、情報通信分野あるいは自動化技術の必要なロボット、省力化、そういったメーカーからのエンジニアの要請も徐々に高まりつつございました。
- 次に、事業別の環境としましては、まず、技術者派遣事業につきましては、特に増収・増益に貢献しましたのはエンジニアの数が増えたことです。
- また、高稼働率に伴って稼働人員数が、前年を大きく上回ったということが、貢献の1つ目です。
- エンジニア一人一人のお客様との契約単価、いわゆる技術者単価が、前年同期を上回ったことです。
- 数と質、両面の支えによって、5期連続の増収・増益となりました。
- あと、事業の3つ目、請負・受託事業につきましては本格的に専門部門を設置し、請負・受託のニーズの掘り起こし、それと受注活動をスタートさせました。
- 徐々にですが、請負・受託の受注数も増加し、本年度着地しております。

第57期（'19年1月期）決算概要 業績ハイライト

■売上高9.8%増、営業利益15.3%増、
経常利益15.0%増、当期純利益12.5%増。営業利益率12.4%

	'18年1月期		'19年1月期		前年増減値	前年増減率	
	実績（百万円）	百分比（%）	実績（百万円）	百分比（%）	（百万円）	（%）	
売上高	5,765	100.0	6,331	100.0	566	9.8	・稼働人員の増加 ・技術者単価の上昇
売上原価	3,725	64.6	4,033	63.7	308	8.3	・稼働人員の労務費
売上総利益	2,039	35.4	2,298	36.3	259	12.7	
販管費	1,358	23.6	1,513	23.9	155	11.4	・求人費の増加 ・管理系ｽﾀｯﾌの増員
営業利益	681	11.8	785	12.4	104	15.3	
経常利益	690	12.0	794	12.5	104	15.0	
当期純利益	480	8.3	540	8.5	60	12.5	

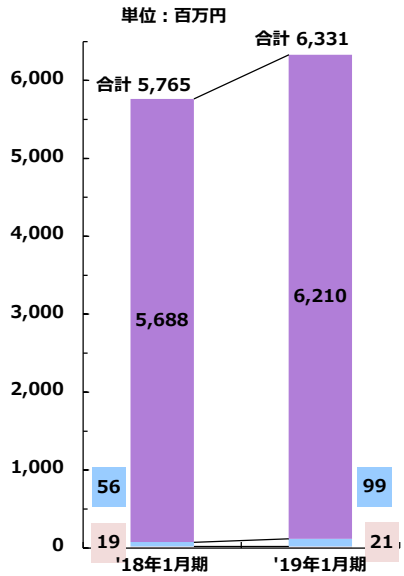
https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- 次に業績面でございます。
- まず、売上高につきましては、前年の増減率としましては9.8%の増収。
- 営業利益で、15.3%の増益。
- 経常利益で、15.0%。
- 当期純利益で、12.5%の増益の着地でございました。
- 最終営業利益率は、12.4%で着地しております。

第57期（’19年1月期）決算概要 事業別 売上高

■技術者派遣9.2%増、 ■請負・受託76.4%増



	'18年1月期 実績（百万円）	'18年1月期 構成比（%）	'19年1月期 実績（百万円）	'19年1月期 構成比（%）	前年増減率（%）	構成比差異（pt）
技術者派遣	5,688	98.7	6,210	98.1	9.2	▲ 0.6
請負・受託	56	1.0	99	1.6	76.4	0.6
小計	5,745	99.7	6,310	99.7	9.8	0.0
その他	19	0.3	21	0.3	7.7	▲ 0.0
合計	5,765	100.0	6,331	100.0	9.8	—

https://www.artner.co.jp/

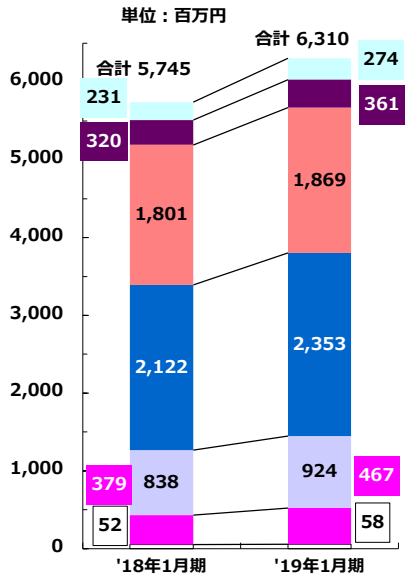
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

22

- 次に、売上高の分析でございます。
- まず事業別の売上高ですが、技術者派遣事業につきましては、9.2%の増。
- 請負・受託スタートしましたけども、76.4%の増。
- 事業別の構成比としましては、派遣が98.1%、請負が1.6%。
- その他、主に人材紹介の売上ですが、0.3%という事業別の構成比でございます。

第57期（’19年1月期）決算概要 業種別 売上高

■機械12.7%増、 ■輸送用機器10.9%増、 ■情報・通信23.3%増



	'18年1月期 実績 (百万円)	'18年1月期 構成比 (%)	'19年1月期 実績 (百万円)	'19年1月期 構成比 (%)	前年増減率 (%)	構成比差異 (pt)
鉄鋼・非鉄・金属	231	4.0	274	4.4	19.0	0.3
機械	320	5.6	361	5.7	12.7	0.1
電気機器	1,801	31.4	1,869	29.6	3.8	▲ 1.7
輸送用機器	2,122	36.9	2,353	37.3	10.9	0.4
精密機器	838	14.6	924	14.6	10.3	0.1
情報・通信	379	6.6	467	7.4	23.3	0.8
諸業種	52	0.9	58	0.9	12.9	0.0
合計	5,745	100.0	6,310	100.0	9.8	—

※「その他」売上除く

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

23

- 更に売上高のお客様の業種分類別の構成でございます。
- 輸送用機器、いわゆる自動車関連で10.9%の増。
- その他、機械12.7、情報通信23.3%の増となっております。
- 当社のお客様の業種別の主要業種は輸送用機器で37.3%の構成比。
- 電気機器で、29.6% 。
- 精密機器で、14.6でございます。
- 取引先の主要3業種、電気、輸送、精密でございます。

第57期（’19年1月期）決算概要 顧客企業 売上高上位10社

【売上高 上位10社（敬称略）】

	'18年1月期		'19年1月期	
	顧客企業	業種	顧客企業	業種
1	本田技術研究所	輸送用機器	本田技術研究所	輸送用機器
2	ニコン	精密機器	ニコン	精密機器
3	パナソニック	電気機器	パナソニック	電気機器
4	テルモ	精密機器	テルモ	精密機器
5	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属
6	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器
7	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器	ジェイテクト	機械
8	ジェイテクト	機械	ケーヒン	輸送用機器
9	日立オートモティブシステムズ	輸送用機器	日立オートモティブシステムズ	輸送用機器
10	ケーヒン	輸送用機器	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器

【10社ごとの売上高】

	'18年1月期		'19年1月期		前年	構成比
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)	差異 (pt)
上位10社 計	2,789	48.5	3,158	50.1	13.3	1.5
上位11社~20社 計	890	15.5	825	13.1	▲ 7.4	▲ 2.4
上位21社~30社 計	632	11.0	660	10.5	4.5	▲ 0.5
上記以外 計	1,433	24.9	1,665	26.4	16.2	1.5
合計	5,745	100.0	6,310	100.0	9.8	—

※「その他」売上除く

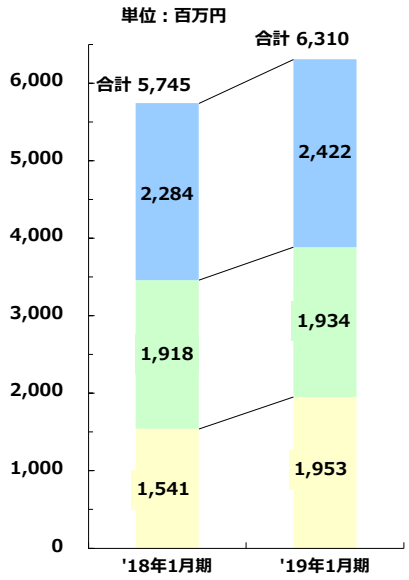
https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- それらのお客様の売上高上位10社の取りまとめでございます。
- 2018年1月期と2019年1月期を比較しますと、上位10社のお取引先の企業様は顔ぶれは同じでございます。
- 順位に関しましても、1位から6位までは同じ順位です。
- 7位以下が顔ぶれは同じですけども、若干順位の入れ替えがあったという状況です。
- やはり、輸送用機器、精密機器、電気機器が上位3位を占めてるという状況でございます。

第57期（'19年1月期）決算概要 分野別 売上高

■機械6.0%増、 ■電気・電子0.8%増、 ■ソフトウェア26.7%増



	'18年1月期 実績 (百万円)	'18年1月期 構成比 (%)	'19年1月期 実績 (百万円)	'19年1月期 構成比 (%)	前年増減率 (%)	構成比差異 (pt)
樹脂板金	1,449	25.2	1,328	21.0	▲ 8.4	▲ 4.2
機構	387	6.7	421	6.7	8.8	▲ 0.1
機器装置	266	4.6	441	7.0	65.4	2.3
解析	181	3.2	231	3.7	27.7	0.5
機械 計	2,284	39.8	2,422	38.4	6.0	▲ 1.4
電子回路	1,096	19.1	1,021	16.2	▲ 6.8	▲ 2.9
半導体	59	1.0	32	0.5	▲ 45.0	▲ 0.5
電気機器	763	13.3	881	14.0	15.4	0.7
電気・電子 計	1,918	33.4	1,934	30.7	0.8	▲ 2.7
制御ソフト	1,226	21.4	1,568	24.9	27.9	3.5
情報処理	315	5.5	384	6.1	22.0	0.6
ソフトウェア 計	1,541	26.8	1,953	31.0	26.7	4.1
合計	5,745	100.0	6,310	100.0	9.8	—

※「その他」売上除く

https://www.artner.co.jp/

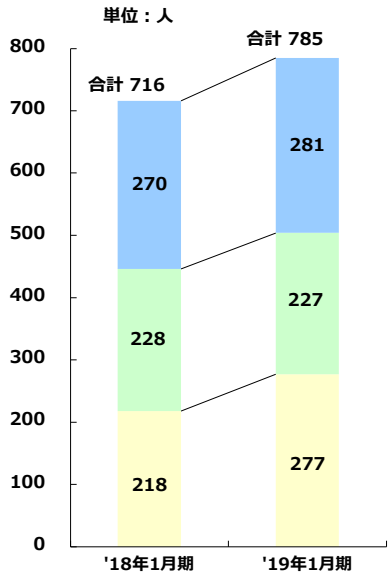
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

25

- 次に売上高のエンジニアの分野別。
- 機械、電気・電子、ソフトウェアの構成です。
- 大きく伸ばしましたのは、ソフトウェアが26.7%売上が増えています。
- 3分野の構成比としましては、機械が38.4%。
- 前年から若干マイナスです。
- 電気・電子が30.7%。
- 前年から約2.7ポイントマイナス。
- ソフトウェアが31.0%。
- 前年と比較しますと構成で4.1ポイントの増。
- 前年から大きく伸びたのがソフトウェア分野。
- 更に詳細を見ますと制御ソフト、世間で言いますと組み込みソフトのエンジニアの分野が非常に大きく伸長したという結果でございました。

第57期（'19年1月期）決算概要 分野別 期末技術者数

■機械4.1%増、 ■電気・電子0.4%減、 ■ソフトウェア27.1%増



	'18年1月期 実績（人）	'18年1月期 構成比（%）	'19年1月期 実績（人）	'19年1月期 構成比（%）	前年増減率（%）	構成比差異（pt）
樹脂板金	153	21.4	155	19.7	1.3	▲ 1.6
機構	48	6.7	51	6.5	6.3	▲ 0.2
機器装置	43	6.0	50	6.4	16.3	0.4
解析	26	3.6	25	3.2	▲ 3.8	▲ 0.4
機械 計	270	37.7	281	35.8	4.1	▲ 1.9
電子回路	116	16.2	118	15.0	1.7	▲ 1.2
半導体	6	0.8	3	0.4	▲ 50.0	▲ 0.5
電気機器	106	14.8	106	13.5	0.0	▲ 1.3
電気・電子 計	228	31.8	227	28.9	▲ 0.4	▲ 2.9
制御ソフト	164	22.9	210	26.8	28.0	3.8
情報処理	54	7.5	67	8.5	24.1	1.0
ソフトウェア 計	218	30.4	277	35.3	27.1	4.8
合計	716	100.0	785	100.0	9.6	—

https://www.artner.co.jp/

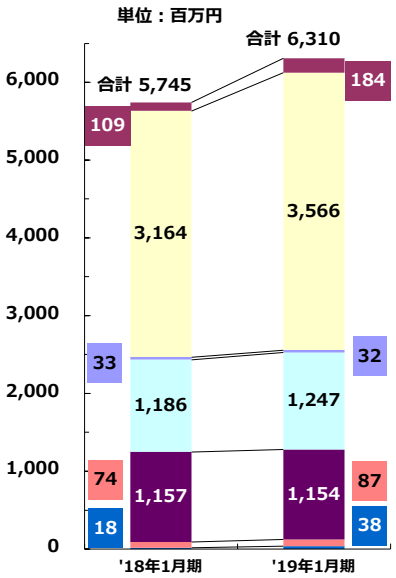
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

26

- 同じく分野別の期末技術者数です。
- 先ほど売上高でございましたが、人員数。
- 電気が若干人員が減りまして、機械が微増。
- 大きくソフトウェアの人員数が増えた。
- その反映として、売上もソフトウェアが大きく伸ばしたという結果でございました。
- 人員数の構成比としては、機械が35.8%。
- 電気・電子が28.9%。
- ソフトウェアが35.3%。
- 組み込み系が大きく人員数を伸ばした。
- 採用数の比率が高かったということとなります。

第57期（’19年1月期）決算概要 地域別 売上高

関東12.7%増、 東海5.1%増、 近畿0.3%減



	'18年1月期 実績 (百万円)	'18年1月期 構成比 (%)	'19年1月期 実績 (百万円)	'19年1月期 構成比 (%)	前年増減率 (%)	構成比差異 (pt)
東北	109	1.9	184	2.9	68.2	1.0
関東	3,164	55.1	3,566	56.5	12.7	1.4
北陸	33	0.6	32	0.5	▲ 3.2	▲ 0.1
東海	1,186	20.7	1,247	19.8	5.1	▲ 0.9
近畿	1,157	20.1	1,154	18.3	▲ 0.3	▲ 1.9
中国	74	1.3	87	1.4	17.3	0.1
九州	18	0.3	38	0.6	103.2	0.3
合計	5,745	100.0	6,310	100.0	9.8	—

※「その他」売上除く

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

27

- 売上高の詳細の最後のデータですが、主要3エリア、関東、東海、近畿の売上の状況ですが、関東圏が大きく12.7%売上を伸ばしております。
- 構成としましては、関東が全体の56.5%。
- 東海が19.8%。
- 近畿が18.3%という状況です。
- 近年、自動車関連メーカー様からのエンジニアの要請が、他の業種と比較すると圧倒的に旺盛力が違います。
- その関係で関東圏、特に北関東中心とする自動車完成メーカー、部品メーカーへの人材の供給量が他のエリアに比べて多かった。
- それがもたらした結果といえるかと思います。
- あと、政策的に、これは採用政策でございますが、東北エリア、九州エリアからの新卒採用人数比率は比較的高い実績です。
- その地元での業務比率を高めていくということも、採用政策上、極めて重要な要素になりますので、現在、営業政策として東北、九州の顧客拡大に力を注いでるという状況です。

技術者派遣事業の売上高、費用、利益率向上の考え方

売上高

稼働人員

技術者数 × 稼働率 × 技術者単価 × 労働工数

売上原価 顧客企業に配属中の技術者の労務費等

販売管理費 社内にて教育研修（待機）中の技術者の労務費、スタッフ職の労務費、求人広告費等

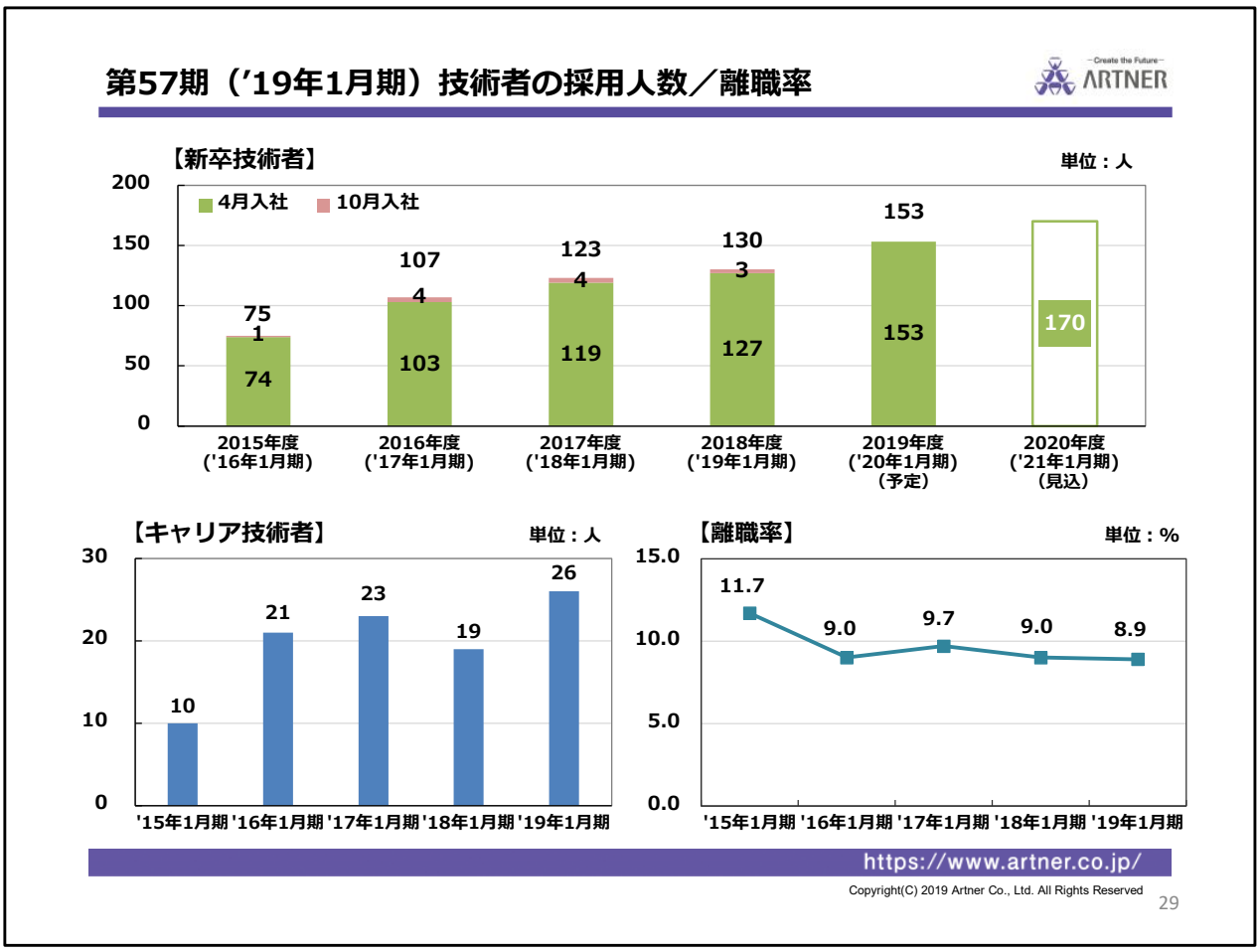
利益率向上の2つのポイント

【売上総利益率の向上】
技術者の労務費の圧縮はできないため、1人当たりの技術者単価の上昇が必要。

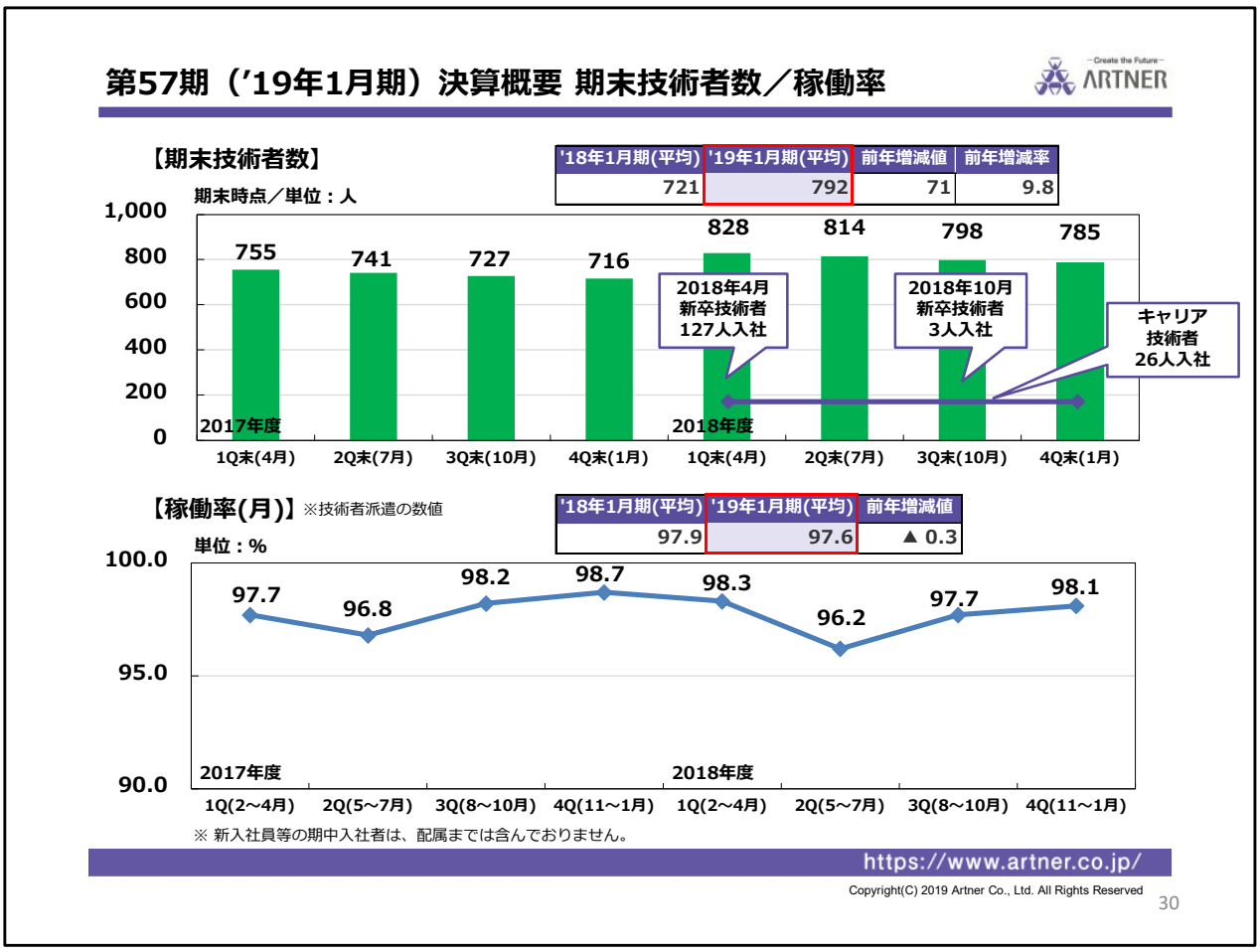
【営業利益率の向上】
技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、販管費率の上昇を抑える。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved



- あと、その他のデータのご紹介をさせていただきます。
- まず採用人数です。
- 採用は新卒とキャリアございますが、新卒につきましてはこちらです。
- 2019年1月期の4月入社の新卒127名でございました。
- 秋入社、10月入社の新卒3名。
- 年間トータル130名の実績でございました。
- 明けまして2019年度、2020年1月期、来週月曜日、入社式でございますが、4月153名の新卒の入社予定でございます。
- 来年度、2020年の4月新卒採用計画は、170名を計画させていただいております。
- キャリア技術者の入社数は、2019年1月期26名の実績でございました。
- 市場で今、非常にエンジニアの売り手市場という状況ではございますが、当社においての離職率、退職率ですが、おかげさまで年々離職率の改善が見られておりまして、2019年1月期は8.9%の離職率で着地しております。
- 内数としまして、先ほど制度紹介しましたが、EA制度を活用して退職したという方が8.9%のうち、おおむね2%程度がEA制度活用の離職率でございます。

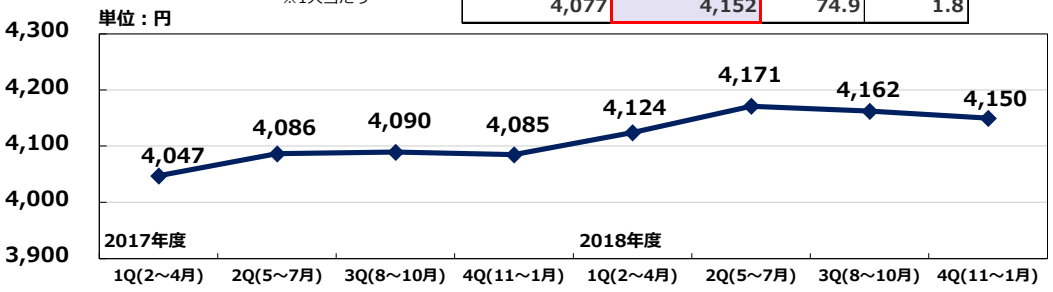


- 参考データのご紹介ですが、期末人員、最終着地が785名の技術者数で着地しております。
- 稼働率は、概ね前年同水準と97.6%の稼働率でございました。

第57期（’19年1月期）決算概要 技術者単価／労働工数

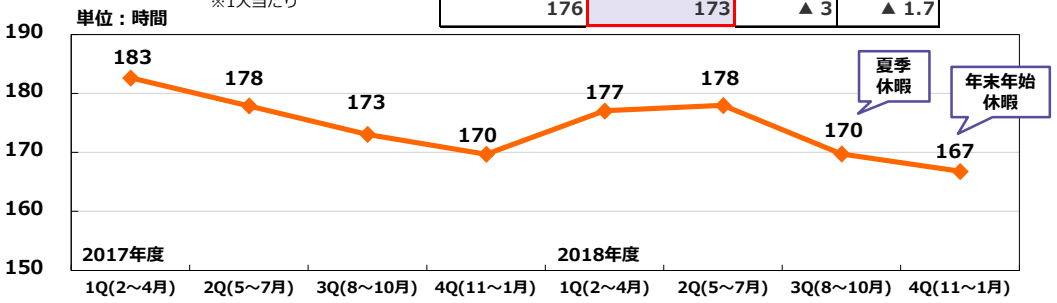
【技術者単価(時間)】※技術者派遣の数値 ※1人当たり

'18年1月期(平均)	'19年1月期(平均)	前年増減値	前年増減率
4,077	4,152	74.9	1.8



【労働工数(月)】※技術者派遣の数値 ※1人当たり

'18年1月期(平均)	'19年1月期(平均)	前年増減値	前年増減率
176	173	▲ 3	▲ 1.7



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

31

- エンジニアの1人当たりの時間のお客さまとの契約価格、技術者単価といいますが、4,152円で、前年より約75円程度、時間当たり上昇したという結果でございます。
- 1か月の労働工数は176に対して173。
- マイナス3時間ということで、特に2018年は自然災害等々、多数発生した関係もありまして、若干昨年よりもマイナスになってるという状況です。
- 働き方改革の影響は、さほど受けてないというように分析はしております。

目次

1. 会社概要 P3

2. 第57期（’19年1月期）決算概要 P19

3. 中期経営計画（’19年1月期～’21年1月期）の進捗 P32

4. 第58期（’20年1月期）業績予想、配当予想 P39

5. 参考資料 P43

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- 以上が、第57期2019年1月期の決算概要でございました。
- 引き続きまして、3番目、4番目、当社現在進めております中期経営計画2018から2020の概要と、引き続き第58期の業績予想、並びに、配当予想の説明に進めさせていただきたいと思います。

中期経営計画（'19年1月期～'21年1月期）

〈 基本方針 〉

『 持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する 』

『 Make Value ! For the Next 2018-2020 』

〈 基本施策 〉

1. セグメント戦略の推進

- **セグメント別戦略の構築（採用-教育-配属-制度）**
- **セグメント別マーケットへの対応の確立**

2. 多種多様な人材活用の推進

- **シニア・女性・外国人労働者(留学生)の人材活用**
- **協力会社の活用・組織化（請負・受託体制の確立）**

https://www.artner.co.jp/

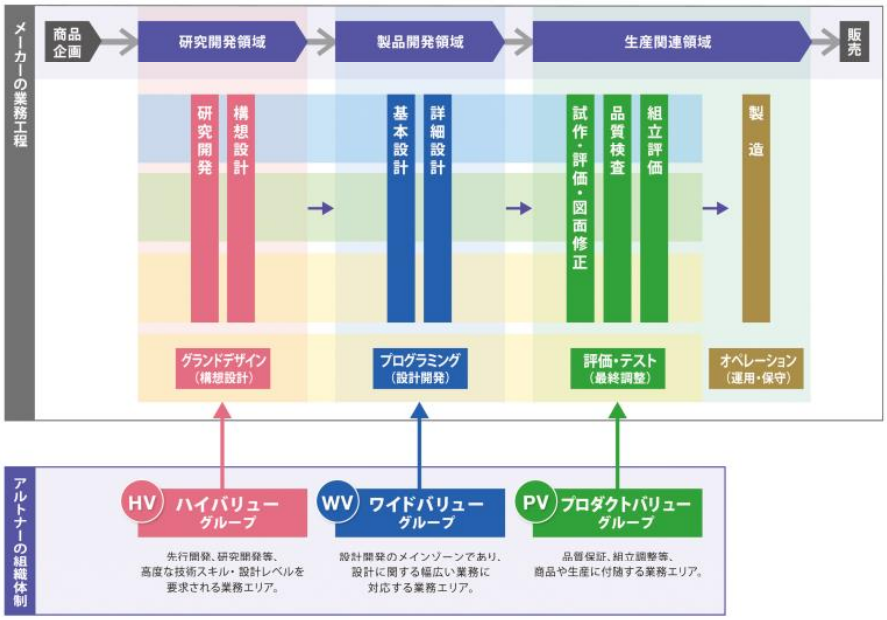
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

33

- まず、中期経営計画の基本方針はこちらの通りです。
- 持続的成長および次世代成長のための基盤をこの3か年で構築していきたいと考えております。
- 具体的な基本施策としましては、大きく2つです。
- 1つ目は、先程ご紹介しました3つのセグメント分野、ハイバリュー、ワイドバリュー、プロダクトバリューというセグメントの戦略を更に推進していくことです。
- それにより営業効率、並びに、採用効率を高めていこうということです。
- 2つ目は、多種多様な人材活用の推進。
- 多種多様な人材活用を推進するために、特に請負・受託体制の確立を行い、その部門で活用していく予定のシニア・女性・外国人労働者の受け皿として請負・受託部門の確立を図っていくということが、基本施策の2つ目でございます。

セグメント別マーケットへの対応

■顧客企業のニーズ、モノづくりの工程での多様化する業務領域に対応するため、
3つにセグメント化した戦略を推進し、精度の高いマッチングを実現。

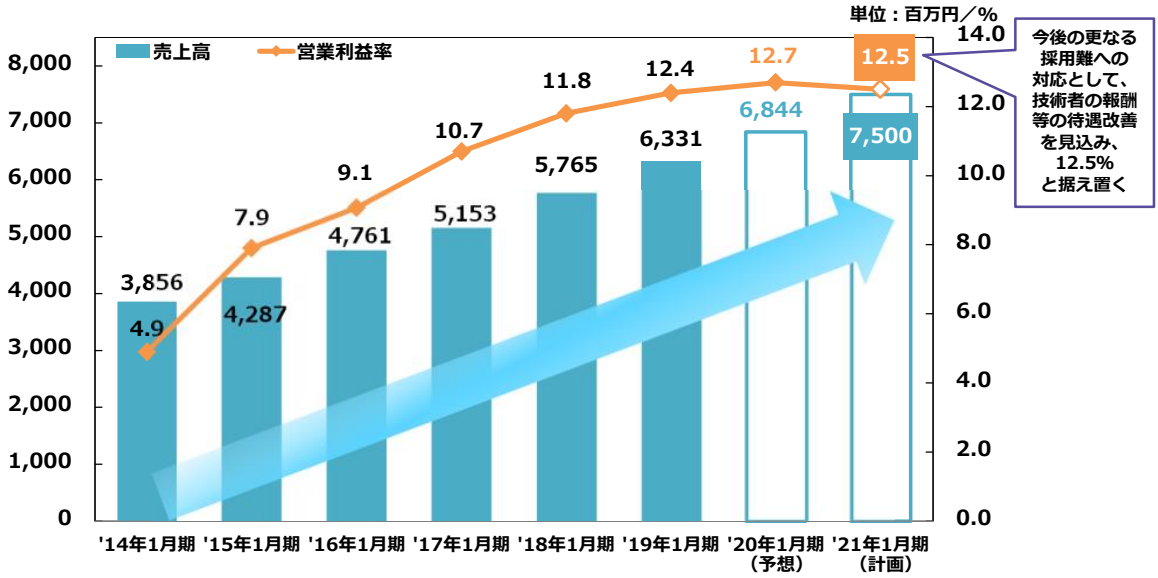


https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

経営数値目標〈2021年1月期（最終年度）業績目標〉

売上高	75億円	営業利益率	12.5%



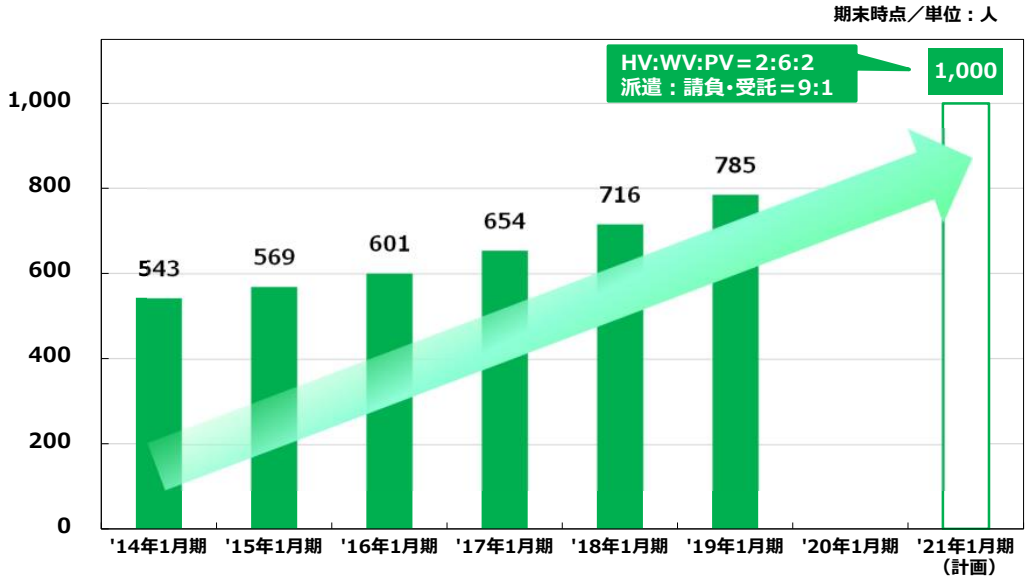
https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- 次に経営数値の目標としましては、着地、売上高75億、営業利益率12.5%。

経営数値目標〈2021年1月期（最終年度）重要指標〉

技術者数　1,000人



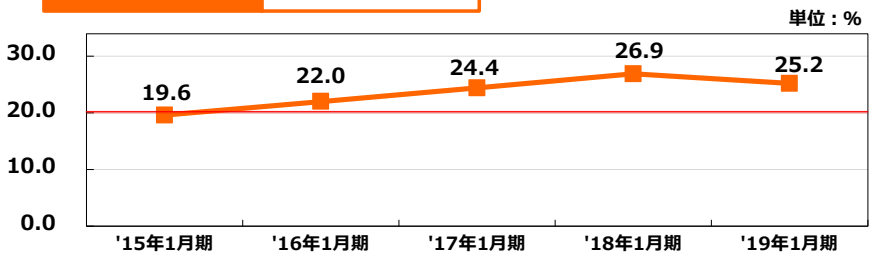
https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

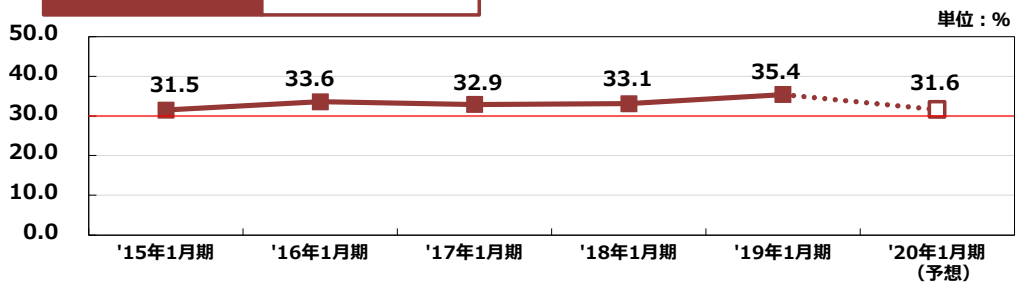
- 更には経営指標としまして、技術者数　着地1,000人を必達する。
- また、セグメント等請負の施策ございますので、それぞれ2：6：2の構成比を目指しております。
- あと、事業別の人員構成としましては、派遣、請負の構成比を9：1、ですから900：100という内数の目標設定もさせていただいております。

経営数値目標〈2021年1月期（最終年度）重要指標〉

ROE　20%以上



配当性向　30%以上



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

37

- 経営指標としましては、ROE20%以上、配当性向30%以上を設定させていただいております。

中期経営計画（'19年1月期～'21年1月期）進捗状況 総括

1. セグメント戦略の推進

- ハイバリュー(HV)、ワイドバリュー(WV)、プロダクトバリュー(PV)の3グループそれぞれの採用基準の設定により、採用機会が増加。
- グループ別の教育・研修プログラムの実践。
- 顧客企業のニーズと技術者のスキルのセグメント化により、マッチング精度が高まる。
- 戦略的に東北や九州の顧客開拓を行い、売上伸長の成果。

2. 多種多様な人材活用の推進

- 「請負・受託体制の確立」において、初年度の'19年1月期に、シニア、協力会社の活用がスタート。
  ⇒ 中期経営計画において、受注プロジェクト数の増加が至上命題。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

38

- これらを踏まえまして、中期経営計画2018年度1年目が終わりましたので、1年目の進捗状況について簡単にご報告させていただきます。
- まず、セグメント戦略の推進につきましては、成果としては大きく4つ挙げています。
- それぞれのグループの採用基準が明確になり、採用機会が増えました。
- 2つ目に、それぞれグループ別の詳細の教育・研修プログラムが出来上がり、きめ細かい教育・研修プログラムの実践が可能となりました。
- 3つ目に、顧客企業のニーズと技術者のスキルをセグメントすることによって、マッチング精度が高まり不要なクレームが減少したと実感しております。
- 最後4つ目、先程も紹介しました3つのグループの顧客開発力を高めることによって、戦略的に採用に密接してる東北、九州エリアの顧客開拓が進んだというのが、4つの成果でございます。
- 基本施策の3つ目、多種多様な人材活用の推進。
- こちらの成果としましては、初年度、請負・受託の受注がかなり増加したということです。
- それと合わせまして、ここで活用してるシニア、協力会社の活用が2018年初年度からスタートが切れた、実績が上がったというのが多種多様な人材活用の推進の成果でございます。

目次

1. 会社概要	P3
2. 第57期（'19年1月期）決算概要	P19
3. 中期経営計画（'19年1月期～'21年1月期）の進捗	P32
4. 第58期（'20年1月期）業績予想、配当予想	P39
5. 参考資料	P43

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- これら中期経営計画踏まえまして、中期経営計画2年目、第58期、2020年1月期の業績配当予想について発表させていただきます。

第58期（’20年1月期）業績予想／前提条件

■先行きは、引き続き成長を見込むが、通商摩擦等の景気への影響を注視。
■「従業員の待遇改善強化」「教育・研修施設のラーニングセンター増床運営」
「請負・受託事業強化のための社内環境整備」の戦略投資を計画。

【第58期（’20年1月期）業績予想】

		'19年1月期 実績	'19年1月期 百分比(%)	'20年1月期 業績予想	'20年1月期 百分比(%)	前年増減値	前年増減率(%)
売上高	(百万円)	6,331	100.0	6,844	100.0	513	8.1
営業利益	(百万円)	785	12.4	870	12.7	85	10.9
経常利益	(百万円)	794	12.5	874	12.8	80	10.1
当期純利益	(百万円)	540	8.5	604	8.8	64	11.7

【第58期（’20年1月期）前提条件】

新卒入社者(4月,10月)	(人)	130	153	23	17.7
キャリア入社者	(人)	26	29	3	11.5
離職率	(%)	8.9	前年同水準		
稼働率	(%)	97.6	前年同水準		
技術者単価	(円)	4,152	前年同水準		

2020年4月　新卒採用目標　(人)	170

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

40

- まず、業績です。
- 概況としましては、中国の景気減速等の影響については、引き続きお客さまの動向を注視しながら進める必要があるだろうと。
- 2つ目としましては、特に第58期につきましては、様々な状況を勘案し、従業員の待遇改善強化を図りました。
- 具体的にはベースアップを積極的に実行したということです。
- 2つ目に、これも採用に密接に関係しますが、吹田市江坂の教育研修施設のラーニングセンターを増床し、リニューアルしスタートを切った。
- 3つ目に、請負・受託事業強化のための社内環境整備の戦略投資を予算上組み入れた。
- これは第58期の内部的特徴でございます。
- これらを踏まえまして、業績として売上高8.1%増の6,844百万。
- 営業利益10.9%増の870百万。
- 経常利益10.1%増の874百万。
- 当期純利益11.7%増の640百万の予算でございます。
- それの予算形成の前提としまして、新卒の入社者153名、4月春入社でございます。
- キャリア入社者29名採用の予算でございます。
- その他、離職率、稼働率、技術者単価は前年実績の同水準で売上を形成させていただいております。
- ちなみに、来年度の採用計画数は、170名の採用予算をこちらの販管費のほうで計上させていただいております。

第57期（'19年1月期）・第58期（'20年1月期）1株当たり配当金

■'19年1月期…普通配当(期末)8円(当初予想の7.5円より0.5円増配)。
中間7.5円と合わせて、普通配当計15.5円。
2018年7月 東証一部上場にあたり記念配当2.5円。年間計18円。

■'20年1月期…普通配当18円(中間9円、期末9円)を予定。
（普通配当において2.5円増配）

	年間配当金(円)					配当利回り(%)	配当性向(%)	純資産配当率(DOE)(%)
	普通配当			記念配当	合計			
	中間	期末	計					
'18年1月期(株式分割前換算)	6.50 (13.00)	7.50 (15.00)	14.00 (28.00)	1.00 (2.00)	15.00 (30.00)	3.69	33.1	8.9
'19年1月期	7.50	8.00	15.50	2.50	18.00	1.63	35.4	8.9
'20年1月期(予想)	9.00	9.00	18.00			1.99	31.6	

※配当利回り（%）＝1株当たり個別配当金(合計)÷株価(期首/終値)×100

※ '18年1月期については、 次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して、遡及修正をしております。
2018年4月1日(1株を2株に分割)

https://www.artner.co.jp/

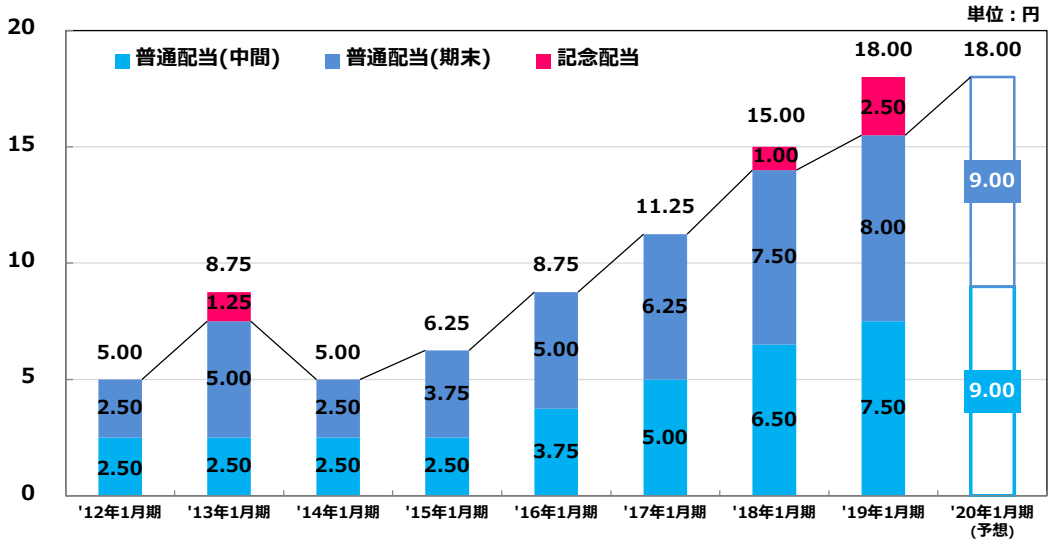
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

41

- 次に配当についてでございます。
- まず、2019年1月期につきましては、普通配当期末8円。
- 当初予想発表は7.5円でございましたので、実質0.5円の増配予定でございます。
- 中間7.5円と合わせて、普通配当は15.5円となります。
- 更に2018年7月、東証一部指定を受けましたので、記念配当を実行したいということで記念配当2.5円。
- 合わせまして年間計18円の予定でございます。
- 4月の株主総会のほうに上程したいという計画でございます。
- 2020年1月期、普通配当年間18円、中間9円、期末9円を予定しております。
- 普通配当については、実質2.5円の増配計画でございます。
- 詳細は、こちらの通りでございます。
- 参考ですが、2019年1月期の配当性向は、35.4%の予定でございます。
- 2020年1月期は、31.6%の前提で予想を立てております。

1株当たり年間配当金 推移

■株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施することを
経営の最重要課題と位置づけ。



※1株当たり配当金は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2011年2月1日(1株を3株に分割)／2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

● 参考で、過去推移の当社の配当の実績について、データを記載させていただいております。

目次

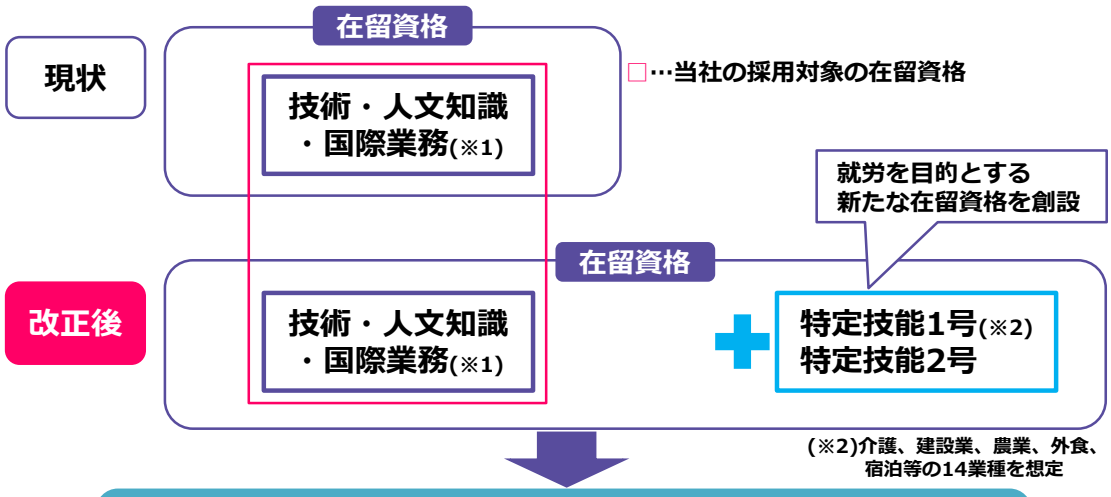
1. 会社概要	P3
2. 第57期（'19年1月期）決算概要	P19
3. 中期経営計画（'19年1月期～'21年1月期）の進捗	P32
4. 第58期（'20年1月期）業績予想、配当予想	P39
5. 参考資料	P43

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

- 5番としまして、様々な関連参考資料を添付させていただいております。
- 最後1点だけ、株主数の推移だけ、ご紹介させていただきたいと思います。

入管法改正(2019年4月施行)が当社に与える影響



(※2)介護、建設業、農業、外食、
宿泊等の14業種を想定

**当社の外国人労働者(留学生)の採用活動は、
在留資格「技術・人文知識・国際業務」が対象のため、
法改正自体の直接的な影響はなし。**

(※1)
【本邦において行うことができる活動(抜粋)】本邦の公私の機関との契約に基づいて行う理学、工学その他の自然科学の分野に属する技術又は知識を要する業務に従事する活動
【条件・基準(抜粋)】従事しようとする業務に必要な知識に関わる科目を専攻して大学を卒業し、又はこれと同等以上の教育を受けたこと。

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

労働基準法改正(2019年4月施行)が当社に与える影響

2019年4月施行 労働基準法改正

全ての使用者に対して「年5日の年次有給休暇の確実な取得」が、
義務付けられる。（対象：年休が10日以上付与される労働者）

【当社のビジネスモデルとの関連】

当社の1人当たりの技術者の売上高は、技術者単価×労働工数。
技術者の有給休暇の取得が、法改正により、現状より増加した場合、
労働工数が減少し、売上高の減少につながる。

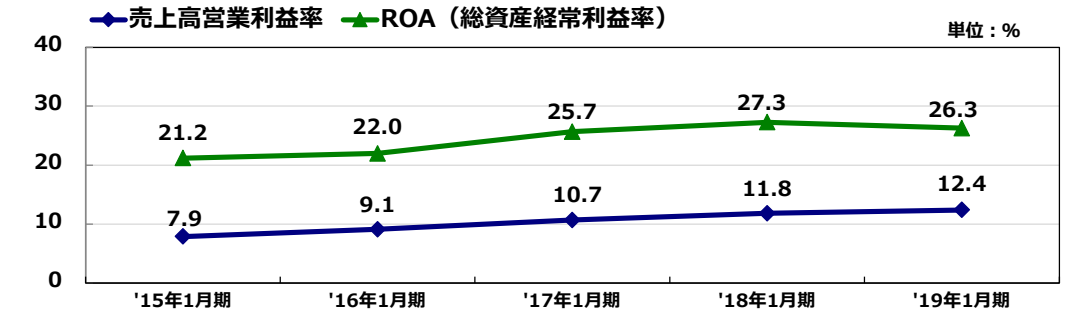
【当社の有給休暇の取得状況】

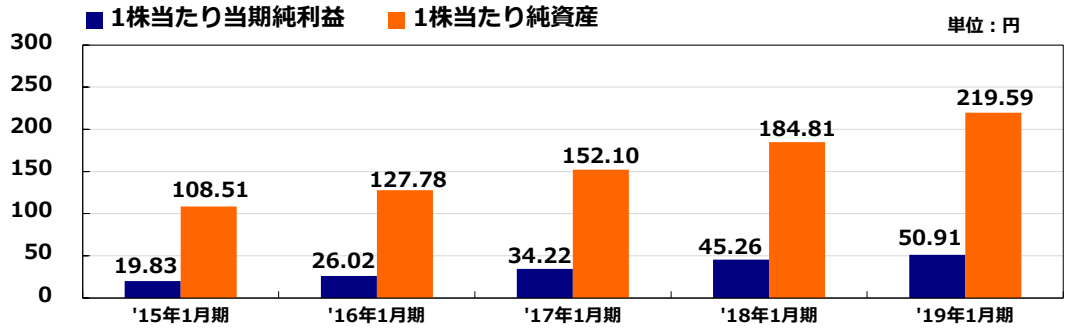
当社の技術者は、現状、年5日の有給休暇をほとんど取得済み。
よって「年5日の年次有給休暇の確実な取得」の義務付けられても、
現状より、それほど有給休暇の取得が増加するわけではない。

当社の業績に与える影響は軽微である。

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

売上高営業利益率/ROA/1株当たり当期純利益・純資産　推移



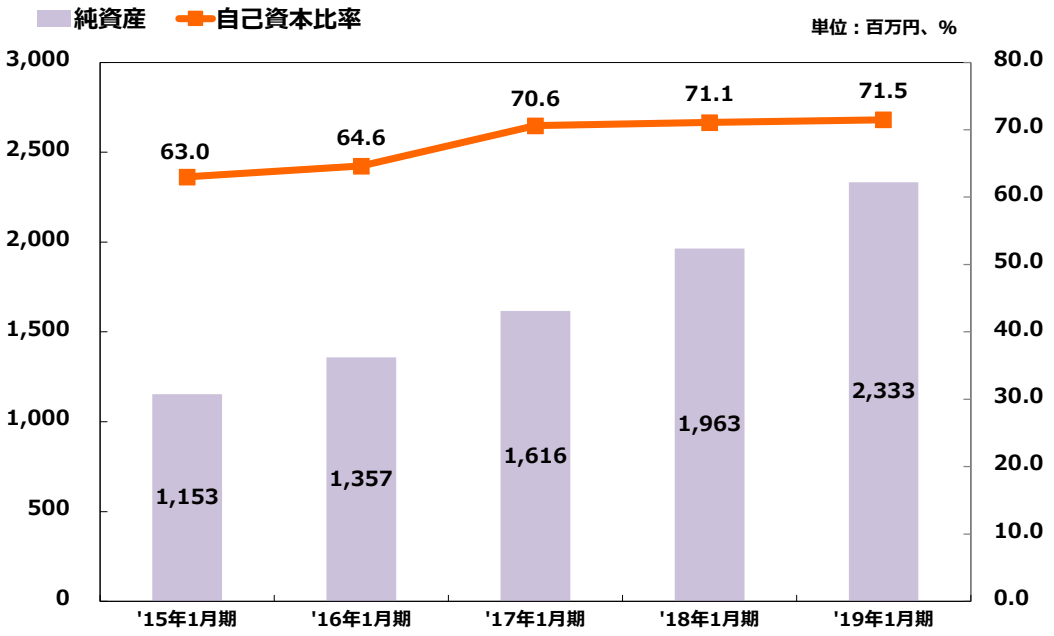


※1株当たり当期純利益、純資産は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

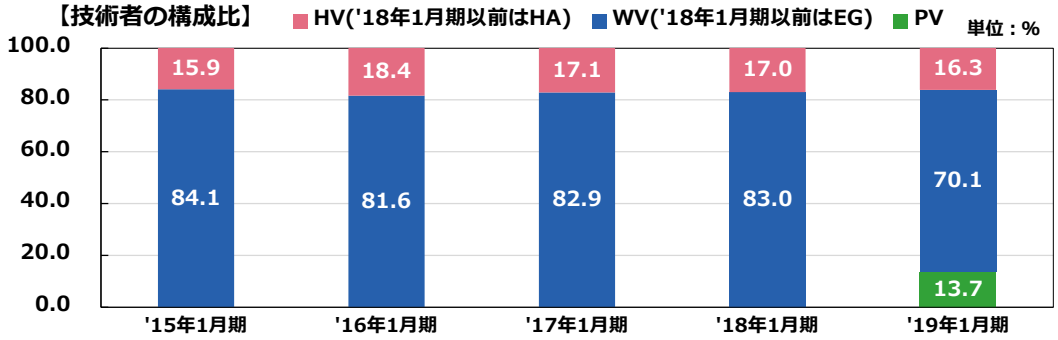
純資産／自己資本比率　推移

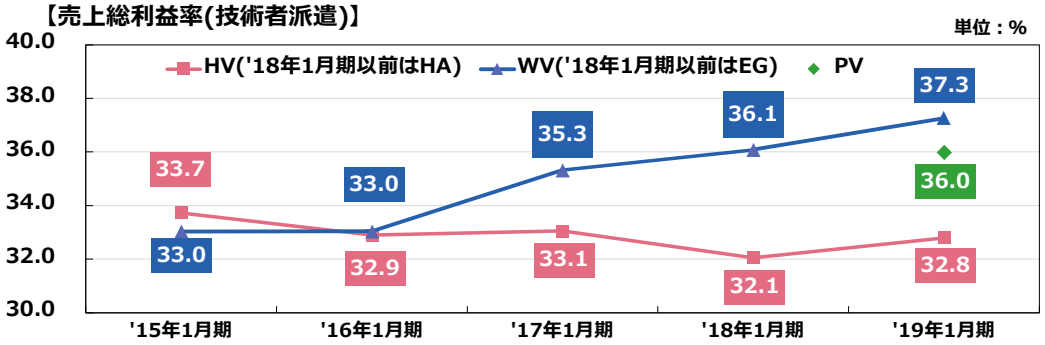


https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

HV(旧HA),WV(旧EG),PV別　技術者の構成比/売上総利益率



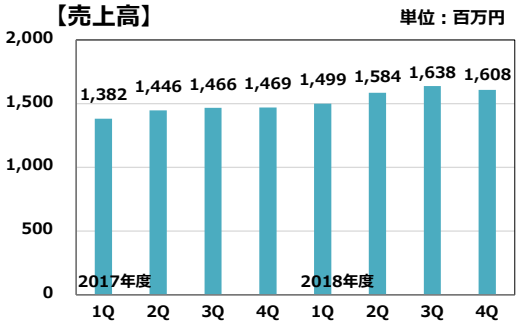


https://www.artner.co.jp/

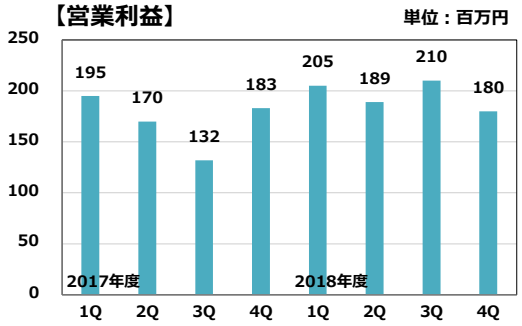
Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

四半期（会計期間）業績推移

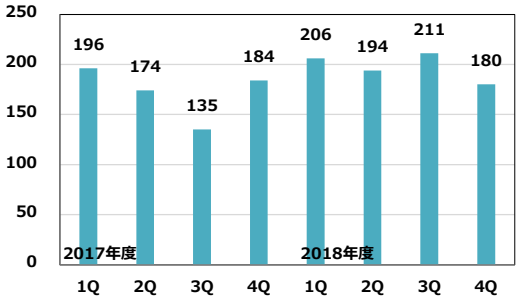
【売上高】 単位：百万円



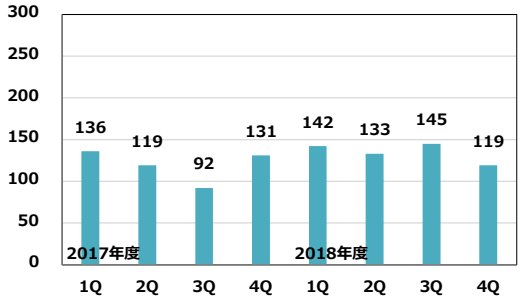
【営業利益】 単位：百万円



【経常利益】 単位：百万円



【当期純利益】 単位：百万円



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

四半期（会計期間）業績推移 数値

【2019年1月期】

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）
売上高	1,499	100.0	8.4	23.7	1,584	100.0	9.6	25.0	1,638	100.0	11.8	25.9	1,608	100.0	9.5	25.4
売上原価	924	61.6	10.2	22.9	982	62.0	6.8	24.4	1,076	65.7	7.6	26.7	1,049	65.3	8.6	26.0
売上総利益	575	38.4	5.7	25.0	602	38.0	14.3	26.2	562	34.3	20.9	24.4	558	34.7	11.0	24.3
販管費	369	24.6	6.0	24.4	413	26.1	15.8	27.3	351	21.5	5.8	23.2	378	23.5	18.2	25.0
営業利益	205	13.7	5.2	26.2	189	11.9	11.3	24.1	210	12.8	58.5	26.8	180	11.2	▲ 1.5	23.0
経常利益	206	13.8	5.4	26.1	194	12.3	11.2	24.5	211	12.9	56.8	26.7	180	11.3	▲ 1.7	22.8
当期純利益	142	9.5	4.1	26.3	133	8.4	11.4	24.7	145	8.9	56.5	26.9	119	7.4	▲ 9.0	22.1

※① 通期業績における四半期ごとの構成比

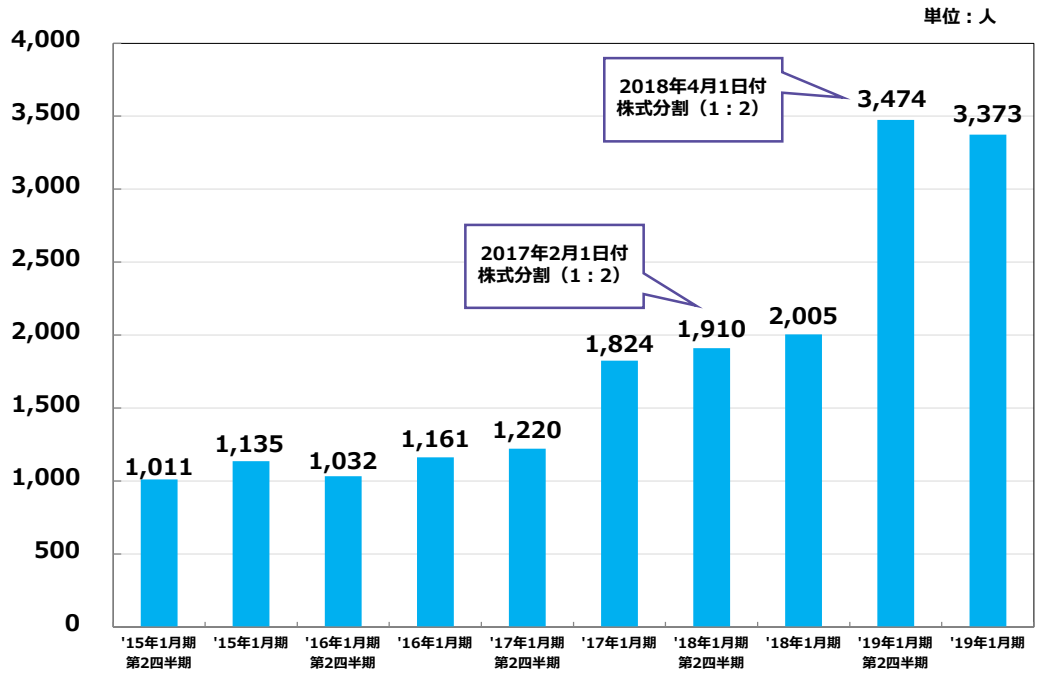
【2018年1月期】

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）	実績（百万円）	百分比（%）	前年比（%）	※①（%）
売上高	1,382	100.0	8.3	24.0	1,446	100.0	12.5	25.1	1,466	100.0	13.9	25.4	1,469	100.0	12.8	25.5
売上原価	838	60.7	5.1	22.5	919	63.6	9.5	24.7	1,001	68.3	17.3	26.9	966	65.7	12.4	25.9
売上総利益	544	39.3	13.7	26.7	527	36.4	18.1	25.8	465	31.7	7.3	22.8	503	34.3	13.3	24.7
販管費	348	25.2	15.8	25.7	356	24.7	9.9	26.3	332	22.7	6.5	24.5	320	21.8	2.8	23.6
営業利益	195	14.1	10.1	28.7	170	11.8	39.9	25.0	132	9.0	9.2	19.5	183	12.5	38.0	26.9
経常利益	196	14.2	9.4	28.5	174	12.1	39.1	25.3	135	9.2	7.9	19.6	184	12.5	37.6	26.7
当期純利益	136	9.9	17.2	28.5	119	8.3	44.9	24.9	92	6.3	12.4	19.3	131	9.0	61.5	27.3

※① 通期業績における四半期ごとの構成比

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

期末株主数　推移



https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

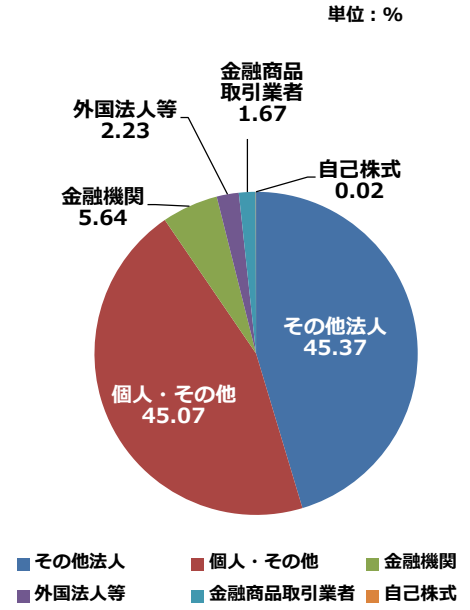
51

- 株主数については、ご存知の通り、2017年7月に東証一部指定を受けました。それの期が中間期ですので、7月末、株主名簿締めたところ、3,474名でございました。
- 半年経過し、2019年1月末に株主名簿を締めたところ、100名程度株主数が減少し、3,373名となっております。

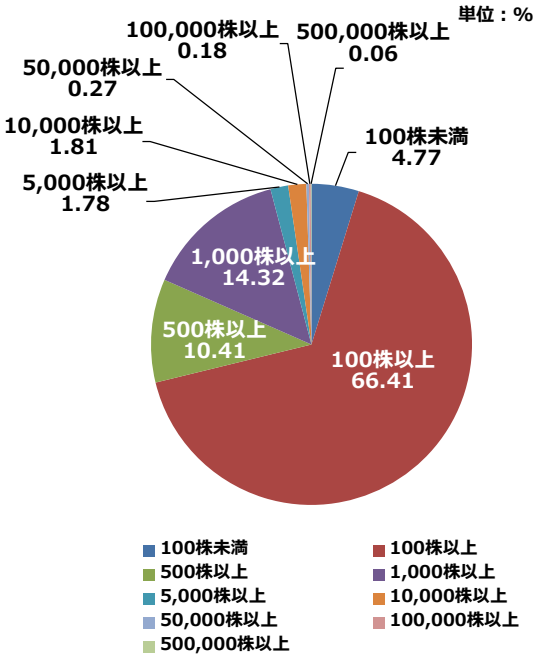
- 以上、概要についてのご報告とさせていただきます。
- 長時間ご清聴ありがとうございました。

株主構成（2019年1月31日現在）

■所有者別の株式分布



■所有株式数別の株主分布

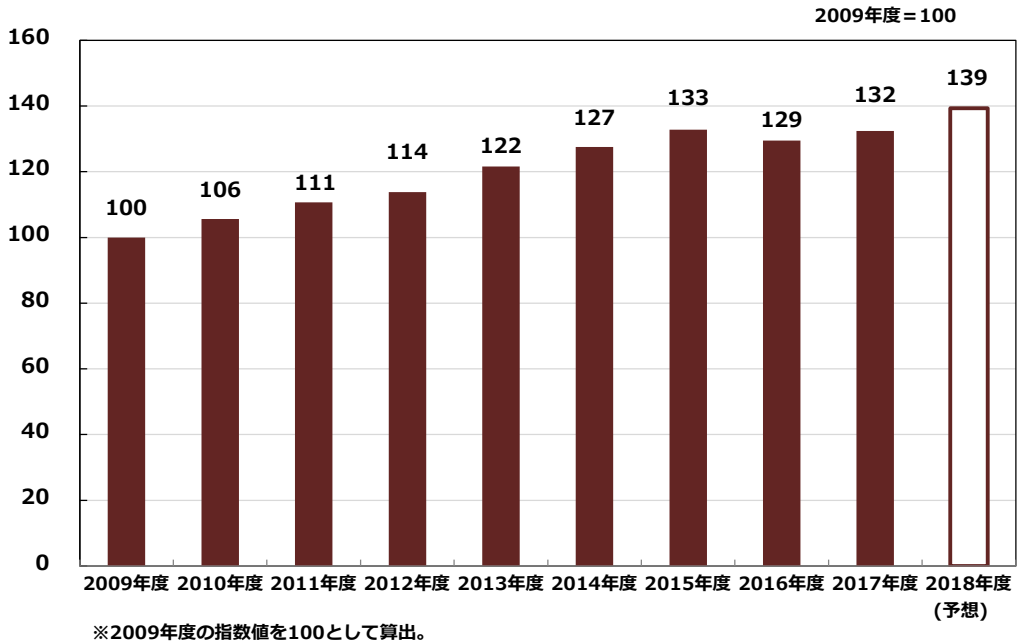


https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

顧客企業の研究開発費　推移

■顧客企業のメーカーの研究開発費は堅調に推移

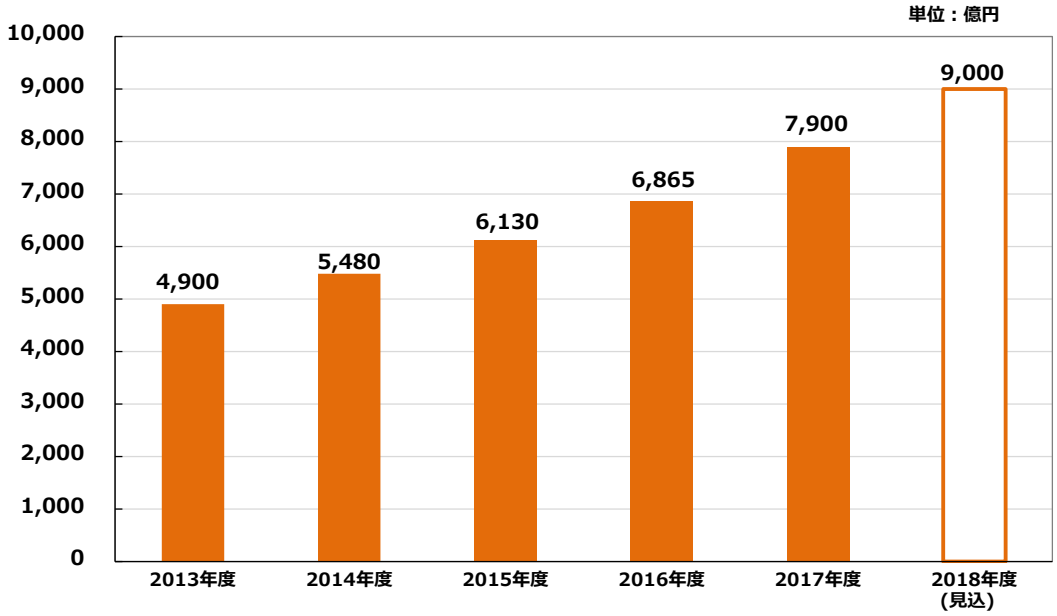


※2009年度の指数値を100として算出。
※3月決算の上場している顧客企業の開示資料より集計。

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

技術者派遣ビジネス市場規模推移

■技術者派遣市場は堅調に推移



出所：（株）矢野経済研究所「人材ビジネスの現状と展望 2018年版」

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

会社情報

名称	株式会社アルトナー　(英訳名：ARTNER CO., LTD.)
設立	1962年9月18日
代表者	代表取締役社長 関口相三
株式	東京証券取引所市場第一部（証券コード：2163）
株主総会	大阪にて開催
資本金	2億3,828万4,320円（2019年1月31日現在）
本社	東京・大阪本社
事業拠点	横浜・宇都宮・大阪・名古屋事業所
研修拠点	ラーニングセンター
事業内容	1）機械　2）電気・電子　3）ソフトウェア 上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
社員数	881人（2019年1月31日現在）
許可番号	労働者派遣事業（派27－020513） 有料職業紹介事業（27－ユ－020355）

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

本資料のお取り扱い／お問い合わせ先／IRメール配信

■本資料のお取り扱い

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、
潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、
実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事がありますのでご承知ください。

■IRメール配信

Eメールアドレスをご登録いただいた方に
「投資家情報」の最新情報を配信（無料）

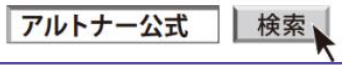
【登録URL】
https://www.artner.co.jp/ir/mail/

【QRコード】

■YouTube 公式チャンネル

エンジニアインタビュー等を
配信中

https://www.youtube.com/より、



■お問い合わせ先

株式会社 アルトナー　経営戦略本部 IR・PRグループ
TEL：050-3786-2163　／　E-mail：ir@artner.co.jp

Copyright(C) 2019 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

56